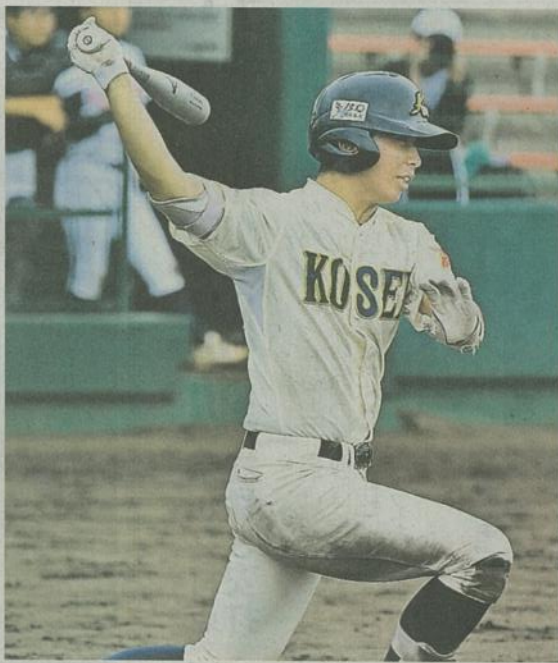


光星 6回突き放す

青西打線 4回以降沈黙



【青森西―八学光星】6回裏、八学光星2死一、二塁、野呂が右前適時打を放ち6点目。八戸市長根公園

【評】八学光星は2点を広げた。井坂は七回にリードで迎えた六回、深もコールド勝ちを決める野の安打を皮切りに、佐適時打を左中間に放つ藤の機飛、井坂と野呂のた。投手陣は先発洗平歩適時打で3点を奪い点差から富井、吉田の小刻み

な継投で7回を1失点に抑えた。青森西は三回に田村陽の適時打で1点を返したが、四回以降は2安打と打線が沈黙した。

◆2安打1打点で中軸の役割を果たした八学光星の野呂（3年）入りが甘く、力んで自分たちのプレーができていなかった。中盤に監督から泥くぐくやろつと言われ、食欲に1点ずつ取ること意識した。四番の責任

を感じる中で打ってほしいがまだまだ。調子上げて成長したい。

第104回

全国高校野球

青森大会